

<p>研修名</p>	<p>自殺対策支援者研修「うつ病の早期介入と自殺予防」 ～相談支援における「メンタルヘルス・ファーストエイド」の理解と活用～</p>
<p>講師</p>	<p>九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学分野 九州大学 先端融合医療レドックスナビ研究拠点 特任准教授 加藤 隆弘 先生</p>
<p>開催日時</p>	<p>平成 28 年 6 月 30 日 (木) 13:00 ～ 16:00</p>
<p>開催場所</p>	<p>北九州市総合保健福祉センター 2階 講堂</p>
<p>参加者数</p>	<p>62 名 ○参加者の内訳 ケアマネージャー、保健師、看護師、介護福祉士など</p>
<p>研修の 内容等</p>	<p>・各種相談支援窓口・機関において相談支援に従事する人を対象に、「メンタルヘルス・ファーストエイド(こころの応急処置)」を紹介した。相談支援の現場において、うつ病患者への対応について解説を行い、グループワークを通して参加者同士の情報交換や意見交換を行った。</p> <p>・講義形式にてメンタルヘルス・ファーストエイドとは何か、また、うつ病などの疾患について学び、演習形式(ロールプレイ)にて「傾聴」や「リスク評価」の場面で良い例、悪い例を実際に体験することにより、実践で活かして頂くことを目的とした。</p> 
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の話を聴くことの大事さを、再確認できた。今後に活かしていきたいと思う。 ・ロールプレイ体験をすることで、実際の支援のイメージがついた。 ・うつの可能性についての気づきポイントを知ることができた。支援にあたっての言葉の表現方法など具体的な対人・面接時の技術を知ることができた。 ・メンタルヘルス・ファーストエイド・アクションプラン「りはあさる」は分かりやすく、これからの支援に用いていきたい。 など